



TIPS -ON CAMPUS LIFE FOR STUDENTS-

安心で快適な学生生活を送るための知識、ルール、マナーについて紹介しています。SNS利用にあたって注意すべき点や危険な勧誘への対処法等も掲載しており、トラブルに巻き込まれないために必読の1冊です。



CAMPUS DIARY

スケジュールやタスク管理等に役立てられるカレンダーと、学生生活を送るための基本情報を網羅した学生生活ガイドの合冊冊子です。新生活が始まったばかりの新入生の皆さん、正課授業、クラブ・サークル等の正課外活動、アルバイト等、ご自身のスケジュールを一元管理・「可視化」させコントロールしてみませんか？



課外自主活動ハンドブック

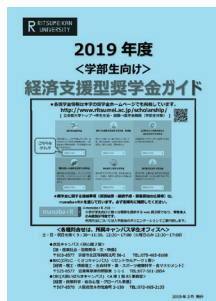
課外自主活動団体が受けることのできる支援内容や守るべきルールがまとめられています。キャンパス別に分かれた細かいルールについても網羅しており、HP上でも閲覧することができます。課外自主活動団体必読の1冊です。

※課外活動ガイダンス出席団体へ配布しています。



Peer Support Activities

本学で活躍するピア・サポート団体を紹介した冊子です。「ピア・サポート」とは何か、学内にどんなピア・サポート団体があるのか、知りたい方はもちろん、団体間の繋がりをつくるヒントにもなる1冊です。



経済支援型奨学金ガイド

経済的に修学が困難な学生をサポートする経済支援型奨学金の概要をまとめたガイドブックです。立命館大学独自の経済支援型奨学金に加え、学外の日本学生支援機構奨学金、地方公共団体・民間財団奨学金、教育ローン等を掲載しています。



学生オフィスでは様々な情報発信をHPや冊子で行っています。必要な資料があれば学生オフィスにお問い合わせください。

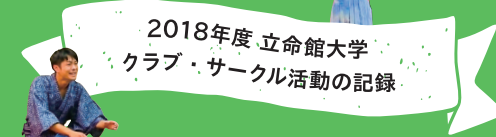


RITSUMEIKAN UNIVERSITY



CHALLENGE / CREATE / CONNECT / CHEER /

STUDENT ACTIVITIES



ENJOY! CAMPUS LIFE!





MESSAGE

課外自主活動で総合的人間力を高めよう！

立命館大学には3万3千人を超える学生が在籍していますが、そのうち約7割が何らかの課外自主活動団体に所属しています。スポーツ、学術、文化、ボランティア、学生自治活動等多様な分野に亘って、キャンパス内外をフィールドとして、学生は生き生きと活動しています。

本誌では、その一端ではありますが、躍動する学生の姿をお伝えします。

立命館大学は、キャンパス全体を多様な学びを経験する場としてとらえ、さまざまな活動を通じて学生が人間的に成長することを期待しています。

新入生の皆さんには、貴重な4年間で正課に加えて課外自主活動にも積極的に参加することで、人間として大きく成長して欲しいと願っています。同じ目標をもつ仲間と活動を共にすることで、人間同士の絆を深め、ともに高めあう関係を築いてください。立命館大学は、正課と課外活動を通じて人間的成長をはかるための「多様な学びのコミュニティ」を提供しています。

本誌を手にとりて少しでも興味ある団体があつたら、ぜひ積極的に仲間の輪に加わってください。

最後に、父母・校友・地域の皆様方には、日頃の学生たちの活動に対するご支援に深く感謝申し上げます。今後とも引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

立命館大学
学生部長
長澤克重



立命館の大学スポーツ

立命館大学には、スポーツに関わるものだけでも多様な課外自主活動団体があります。「学びと成長の場」である大学スポーツを通じて皆さんは、様々な課題において、他者の意見に耳を傾けながら多面的に考えることが求められます。大学でのスポーツ活動には、他者理解と自戒が不可欠です。勝つこと、目標を果たすことは大事にせねばなりません。それが目的になってはなりません。正課・課外自主活動双方での学びを最大限に深める過程を経て、人間として成長した先に大きな目標到達があることを期待しています。

高いレベルで活躍する学生だけでなく、その学生たちと共に努力をする、支える、応援する学生の全てに同じく高い価値があり、課外自主活動の在り方は多種多様です。異なる価値観、文化、経験、能力を持つ学生が集う本学において、仲間づくりの一步を踏み出し、各々の課外自主活動を創りあげてください。

皆さんの活動は、指導者・マネージャー等のスタッフだけでなく、共に学ぶ学生・教職員・父母・校友といった様々な人に支えられています。日々の活動に真摯に取り組む姿を通して立命館スポーツのファンが増え、熱い応援の文化が育まれることを期待しています。

立命館大学
学生部長
(スポーツ振興担当)
川方裕則



INDEX

- 03 課外自主活動って何だろう？
- 05 [特集01] 様々な形での国際交流
- 07 [特集02] 災害に向き合い、社会に貢献する活動
- 09 [特集03] 2020東京オリンピック・パラリンピック特集
- 11 世界・全国で活躍する学生たち
- 17 学術・文化・芸術活動で活躍する学生団体紹介
- 19 地域交流・貢献活動紹介
- 21 成長支援型奨学金・助成金を活用して輝く学生個人・団体紹介
- 24 学園祭
- 25 2018年度成長支援型奨学金・助成金採用一覧
- 27 2018年度の主な活動実績 (体育会・学芸・学術・文化・表現分野・プロジェクト)
- 30 課外自主活動団体一覧／課外自主活動参加者数



課外自主活動って なんだろう？



本学では、正課以外の活動を課外自主活動と呼び、

その分野で活躍する団体を課外自主活動団体と呼んでいます。

学生の70%が様々な、また中には複数の課外自主活動に参画しており、

学部やキャンパスを越え共に活動する仲間と出会い、

自分の可能性を広げ、人として大きく成長しています。

本冊子、「Student Activities」では

多様な課外自主活動の取り組みや

活動の記録を紹介しています。

皆さんも人とひとが出会い、繋がり、

新しい学びや活動に挑戦できる、

自分なりの課外自主活動を始めてみませんか？



Student Activitiesでご紹介している様々な課外自主活動団体や、
課外自主活動に関わる助成金・奨学金について、
本学のホームページで更に詳しい情報をご覧ください。



Sports & Culture

立命館大学には全国から多種多様な力や興味を持った学生が集い、充実した学生生活を送っています。Sports & Cultureは多彩な分野で活躍する課外自主活動団体の紹介をしているホームページです。各団体の企画や試合結果、スケジュール、練習場所等紹介しています。課外自主活動で頑張る学生の姿を是非ご覧ください。



www.ritsumeai.ac.jp/sports-culture/



立命館大学奨学金・助成金制度紹介HP

本学における様々な奨学金・助成金を取りまとめたホームページです。正課・課外自主活動問わず、キャンパス内外で行われる皆さんの学びと活動を応援します。募集は春に行われるものが多いため、新たな行動をおこしたい!と思ったら今すぐチェックしてみてください。



www.ritsumeai.ac.jp/scholarship/

課外自主活動の種類 (イメージ)

クラブ・サークル	
学生会	全構成員自治の原則に則り、立命館大学の学生が全員加入する学生組織。学生会に所属する課外自主活動団体は約430。
自治会・中央パート	中央常任委員会・中央事務局・学部自治会・学術本部・学芸総部・体育会本部等。
事業系パート	全学行事の応援・事業等を行う団体。応援団、放送局(RBC)、新聞社、任意団体。
学術団体	公認団体 同好会 任意団体
学芸団体	公認団体 同好会 任意団体
体育会団体	公認団体 同好会
登録団体	スポーツや芸術等幅広い分野で活動。年に2回登録申請できる。任意団体等への昇格も審査。

約200団体

約230団体

学部プロジェクト団体

学部の学びを活かした組織的かつ継続的なプロジェクト活動を行う団体。

自主ゼミ

学部での学びを深めるための自主的な学習集団活動。印刷費・教室貸与等の支援がある。申請は学部事務室。

助成金採用団体

学びのコミュニティ集団形成助成金等、学生の自主的な取り組みを応援する助成金制度に採用された団体。

ピア・サポーター

大学の各部課が所管する、ピア・サポート活動を行う学生団体。

01

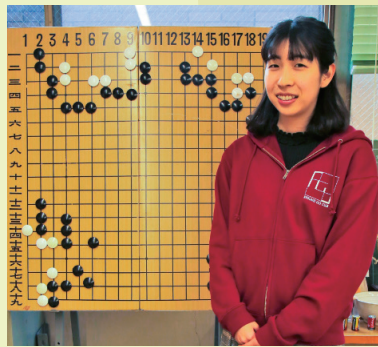
様々な形での 国際交流

課外自主活動を通じて、グローバルに活躍をしている団体、個人を紹介します。
日本国内に留まらず、海外に目を向け国際社会で活躍しており、
海外への派遣、また留学生の受け入れを行う等、グローバルな活動が行われています。

囲碁研究部

派遣 受入

2018年4月に台湾から佛光大学囲碁センターの学生・教職員9名を受け入れ。
また2018年8月に佛光大学が主催する囲碁の学生アジア大会
「2018FGU Asian University Go Tournament」に
囲碁研究部より3名を派遣。



倉科 万以子
文学部3回生 長野県・松本嶺ヶ崎高校

海外の学校を受け入れ、交流できたことは非常に刺激になりました。対局はもちろん真剣勝負ですが、勝ち負け以上に対局相手と盛んに交流できたことが得難い経験になりました。言葉は通じなくとも、碁盤を前に向かい合うと気持ちが通じ合うことを感じました。対局だけでなく、共に食事をしたり、観光をしたりすることで仲良くなることができ交流を楽しめました。

また訪問時の台湾佛光大学主催アジア学生囲碁トーナメントは、国際大会ということで日本の大会とはまた違い、華やかでした。ここで、準優勝という結果を残すことができたことは、自信になりましたが、同時に世界の壁の高さを痛感する機会にもなりました。この貴重な経験から、もっと海外の方々とも囲碁を通して交流していきたいと思いました。



佛光大学の受け入れ、アジア学生囲碁トーナメント参加のどちらにも共通して言えるのは、言葉の壁があったことです。囲碁の対局をしている時と終局後の検討は、感覚的に相手の考えていることが分かるので問題はありませんでした。しかし、コミュニケーションを取りながらの交流となると中々伝えるのが難しい場面もありました。その分、片言の英語でも分かり合えた時の喜びは大きかったです。囲碁という媒体を通して他の国の方々とも仲良くなった経験は、国際交流で得た最も重要なものだと思っています。



剣道部

派遣 受入

剣道部に4年間所属した留学生の出身地域である中国杭州での
試合・合同稽古会に2018年度初参加。
北京大学や浙江大学等中国の名門大学も参加する中、交流を深めた。



船見 菜々子
法学部4回生 三重県・皇學館高校

武道を通じた国際交流と異文化理解、互いの剣道の発展を目的として中国杭州で行われた試合・合同稽古会に参加しました。試合は北京大学、浙江大学他30大学が参加して行われました。結果、出場した全ての部門で優勝することができましたが、同時に中国の学生の剣道に対する実直な姿勢に大きな刺激を受けました。

交流を通じて、異文化理解という点で学びがありました。日本と中国には文化的な違いはありますが、剣道で最も重要とされる「相手を尊重する心」は共通するものでした。日本のメディア報道からしか中国をイメージできていませんでしたが、言葉が通じない中、剣道を通して相手を知り、尊重し、理解することができ、武道(スポーツ)の幅広い可能性を感じました。

今回の交流で剣道部が目標とする「社会に貢献できる人間性の修得」に近づくことができました。今回学んだ「相手を理解する」ということが、今後の私たち剣道部員の人間性と技術の向上に繋がることを確信しています。

多くの人と剣道を通じて関わることが剣道部の目標達成において重要であると感じています。そのために、今後も附属校・近隣校との稽古会や、他大学への遠征、海外交流等をより積極的に行っていきます。



レスリング部

派遣 受入

アフガニスタンからの留学生を受け入れ。
早朝、また夕方に行われる練習にも参加、
課程を修了するまでの2年間互いに切磋琢磨。

私たちレスリング部は部員の人数は多くはないですが、日々の厳しい練習の中でお互いに切磋琢磨しながら活動に取り組んでいます。レスリング部には幼い頃からレスリングを続けている部員も大学からレスリングを始めた部員もいますが、一緒に練習を行っています。その中で、本学理工学研究科修士課程に留学したタミム(アフガニスタン出身)さんが2016年度に入学したことはレスリング部にとって、非常に有意義な機会となりました。

レスリング部では留学生を受け入れた実績がなく、タミムさんを受け入れるにあたり、初めての経験の連続でした。タミムさんは母国でのレスリングの経験はなく、また、英語基準の留学生のため言語のハードルがありました。しかし、部員と同様に練習に参加し、また、積極的にコミュニケーションをとることで、すぐにクラブに馴染んでいきました。また、タミムさん本人が一生懸命に学ぼうとしている姿勢から、部員も普段の練習に緊張感が生まれ、相互により影響を与えられたと感じています。今後も留学生が入部する機会があれば、言語や文化の違いに臆することなく、活動を通じて相互理解に努め、自分自身の成長にも繋げていきたいと思っています。

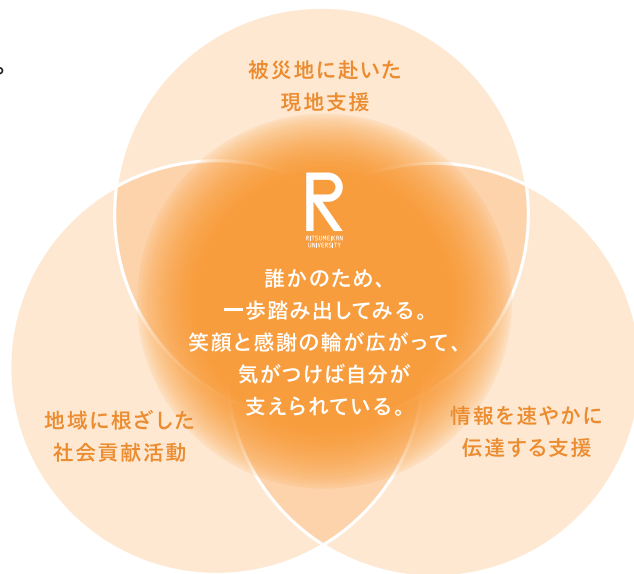


林田 大二郎
理工学部2回生 愛知県・半田高校



02 災害に向き合い、社会に貢献する活動

2018年は地震、台風、豪雨等、日本中が多くの天災に見舞われた年になりました。日本各地でおこった災害に向き合い、自分達の団体の活動の強みを活かして社会に貢献する中で、様々な気づきや学びを得た団体を紹介します。



【地域に根ざした社会貢献活動】 IVUSA

国際ボランティア学生協会 (IVUSA 京都)
立命館大学 大阪茨木支部
(2018年代表 井谷祐一 / 経営学部4回生 大阪府・千里高校)



大阪北部地震では自身も被災しましたが、発生翌日から茨木市社会福祉協議会と連携、破損した家屋の整理や清掃、雨漏り防止シート用の土嚢作り等を行いました。一人暮らしの高齢者の方も少なくなく、余震等で不安な表情の中、話を伺うことで少しずつ表情が柔らくなることにやりがいを感じました。

また、ボランティアのニーズと人手をマッチングさせる調査も行い、SNS等では「#負けてたまるか」と災害に立ち向かう勇気を表現し、現地の情報を発信しました。

緊急時の各団体からの依頼で、日頃の活動が信頼に繋がっていたことを実感できて嬉しかったです。茨木市社会福祉協議会からは感謝状も頂きました。

活動を通して、各分野での経験を持つ社会人の方々から、多様な視野や価値観を知ることができ、教室の座学とは異なる学びのフィールドで、自分達の世界を大きく広げる経験になりました。

【被災地に赴いた現地支援】 バトントワリング部

2018年3回生リーダー 山科真葉
/ スポーツ健康科学部3回生
大阪府・初芝立命館高校



大会に向け技術を磨くだけでなく、「人間的成長」を目指して、地域貢献に取り組んでいます。その一環で、東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県大船渡市と立命館大学の協定のもと実施されている「大船渡まちづくりプログラム」に参加し、被災地を視察、地域の方々と交流しました。

私達は地域のイベントのステージで演技を披露したり、子ども達へバトンのレクチャー等を行ったりしました。その中でも特に印象深かったのが、地元のご夫婦の家で被災時の話を聞いた後、お二人からの突然のリクエストで踊ったことです。衣装もなく、Tシャツとジャージで踊ったのですが、涙を流して喜んでくださり、私達のほうが感動しました。

地域貢献の活動を通して、様々な出会いや学びがあり、地域の皆さんに背中を押された経験がバトンの演技力の向上にも繋がっています。

【情報を速やかに伝達する支援】 新聞社

立命館大学新聞社
(2018年主幹 吉武 堯 / 情報理工学部3回生
福岡県・福岡大学附属大濠高校)

大阪北部地震では、目の前で発生した震災に対し、必要な情報を早く伝えるために即時性のあるHPやTwitterでの情報発信を積極的に行いました。

様々な情報が錯綜する中、大学や公共交通機関、公的機関等の情報をいち早く発信したことは大きな反響がありました。また、東日本大震災と同様に震災の被害や教訓を時間が経っても風化させないため、広く情報や写真を集めて記録することにも力を注ぎました。

紙の新聞が読まれなくなる中、紙以外での情報発信強化や改善を行ってきたことが今回の迅速な情報発信に役立ちました。そのことにより、知名度もあがり相乗効果で紙媒体の発行部数も大きく増えています。今後も立命館大学新聞社というメディアだからこそ発信できる情報を伝えていきたいです。



03 2020東京 オリンピック・パラリンピック特集

2018年は2020年の東京オリンピック・パラリンピックにむけた強豪選手が集うアジア競技大会がインドネシア・ジャカルタで開催され、大会への気運が高まる1年でした。2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた活動の軌跡を紹介します。

アジア競技大会

ボート部

高野 晃帆

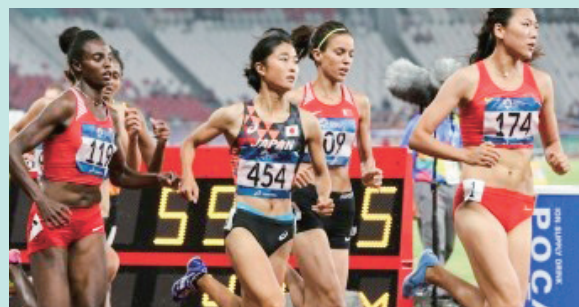
スポーツ健康科学部3回生 大分県・日田三隈高校
女子舵手なしペア 4位入賞

クラブの中心的な存在としてチームの優勝に貢献し、個人でも日本代表としてペアを組んだ選手と息のあった漕ぎで見事4位入賞を果たしました。

2年後の東京オリパラを見据えて今後も邁進していきます。



高野 晃帆 (写真左)



塩見 綾乃 (写真中央)

女子陸上競技部

塩見 綾乃

経済学部1回生 京都府・京都文教高校
800m 5位入賞 / 4×400mR 5位入賞

1回生ながら世界各国の強豪選手が参加するレースでも臆することなく、2種目において見事入賞を果たしました。



渡辺 晃大 (写真中央)

ホッケー部

渡辺 晃大

経営学部4回生 福井県・丹生高校
金メダル

ホッケー男子日本代表「サムライジャパン」に1回生時に初選抜され、以降、4回生まで4年連続で選出、活躍しました。

インドネシア・ジャカルタで開催された第18回アジア競技大会にも日本代表として出場し、チームの金メダル獲得に貢献しました。

2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて

女子陸上競技部

塩見 綾乃

経済学部1回生 京都府・京都文教高校

2018年度は世界を舞台にした活躍をみせました。2019年4月にドーハで開催されるアジア陸上競技選手権へ日本代表としての出場も内定しており、東京2020オリパラにむけて今後益々の活躍が期待されます。



塩見 綾乃 (写真左)

カヌー部

棚田 大志

スポーツ健康科学部3回生 奈良県・奈良情報商業高校

今年のインカレ総合優勝、また個人での5冠(インカレ史上2人目)という結果をはずみにして、来年度開催される、東京オリンピックの出場権にも繋がるワールドカップやアジアカップへの出場を目標に挑み続けます。



棚田 大志 (写真中央)

志田 駿太郎

スポーツ健康科学部2回生 山形県・寒河江高校

専門とする種目であるカナディアンシングル(C1)200m競技において、日本国内、また、海外の大会において着実に成績を残してきました。今後の活躍が更に期待されます。



志田 駿太郎 (写真右)

STUDENTS ACTIVITIES IN THE WORLD & NATIONWIDE

世界・全国で活躍する 学生たち

ホッケー部(男子)

- 第37回全日本大学ホッケー王座決定戦 優勝
昨年に続いて2連覇を達成し、6回目の優勝を飾りました。



カヌー部(男子)

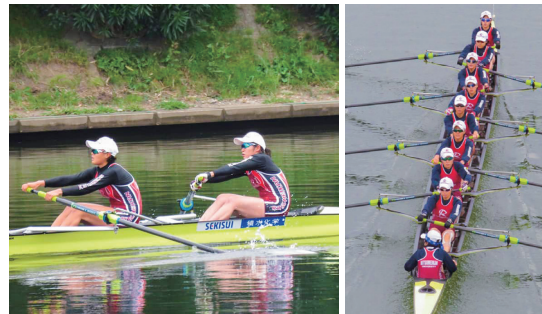
- 第54回全日本学生カヌースプリント選手権大会
カヤックペア1000m 1位
カヤックフォア1000m 1位
カナディアンフォア1000m 1位
カヤック4×500mリレー 1位

各部門において表彰台を独占し総合優勝しました。個人・団体ともに国内無敵のカヌー部です。



ボート部

- 第96回全日本選手権大会
W2-女子舵手なしペア 優勝(5連覇) /
W8+女子エイト 優勝(2連覇)
- 第45回全日本大学選手権大会 女子舵手付きフォア優勝
女子舵手無しペアの決勝レースでは、落ち着いた漕ぎで優勝に輝き5連覇を果たしました。女子エイトでは漕手全員が集中し、1000mのミドルパートで相手を突き離しその勢いのまま一着でゴールし2連覇を飾りました。



弓道部(男子)

- 第66回全日本学生弓道選手権大会 優勝 団体
東京都リーグ・関東リーグの強豪を全て制する圧巻の強さで勝利し、2年ぶり4度目の優勝を勝ち取りました。また、最も美しい技を持つ大学として射道優秀賞を受賞しました。



弓道部(女子)

- 第30回全国大学弓道選抜大会 優勝 団体
相手校と同点になると行われる同中競射で競り勝ち、12年ぶり2度目の優勝を果たしました。



相撲部

- 第6回全国学生女子相撲選手権大会 団体優勝
昨年はメンバーが揃わず悔しい思いをした団体戦で、強豪校相手に2年ぶり2度目の優勝を果たし、優勝旗を奪還しました。



ヨット部

- 第27回全日本学生女子ヨット選手権大会
スナイプクラス 優勝

レース中盤にさしかかった軽風域で抜群のスピードをみせ、ライバル強豪校を破り、日本一の栄冠に輝きました。



日本拳法部

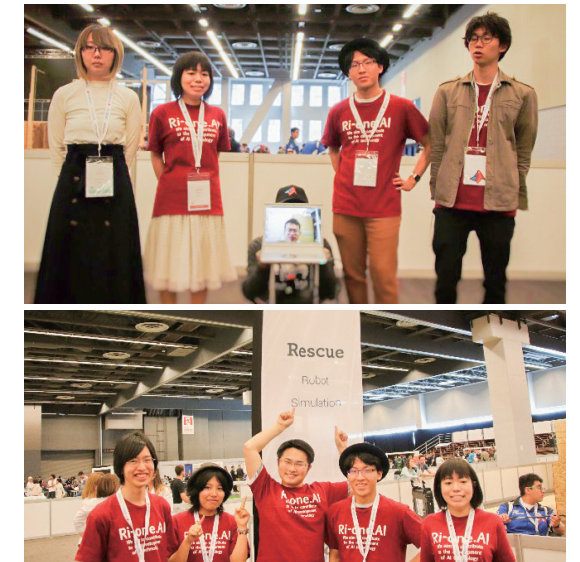
- 第63回全日本学生拳法選手権大会 女子の部 優勝
全国の強豪24チームが出場し、決勝戦は全国レベルの選手が揃う強豪大学との対戦で1勝1敗で迎えた大将戦に勝利し、優勝を決め大学日本一に輝きました。



情報理工学部プロジェクト団体Ri-one

- 「RoboCup2018」レスキューシミュレーションリーグ
テクニカルチャレンジ部門 第1位
- @Home Educationリーグ
Education challenge部門 第3位

カナダで開催された世界大会において、レスキューシミュレーション部門で念願であった世界一に輝き、@Home Educationリーグでも第3位を獲得しました。



書道部

- 「第23回全日本高校・大学生書道展」
第23回全日本高校・大学生書道展【大学の部】
最優秀校(日本一)

個人賞を受賞した点数の多い大学が受賞するもので、応募総数10,390点の作品の中から、大賞に3点(53点中)選ばれたのははじめ、輝かしい成績を収めました。団体の部において、創部以来初となる「最優秀校(日本一)」に選ばれました。



居合道同好会

陸井 美輝

情報理工学4回生 兵庫県・星陵高校

- 第33回全日本学生居合道大会 個人戦の部 優勝

男女混合で行われる本大会は、個人戦の部において立命館大学が3連覇を成し遂げており、今回立命館史上女性初の優勝に輝きました。



相撲部

今日和

国際関係学部3回生 青森県・鱒ヶ沢高校

- 第6回国際女子相撲塚大会
重量級 準優勝/無差別級 優勝
- 第19回全国女子選抜相撲大会 重量級 優勝
- 第4回全国女子相撲選抜ひめじ大会
重量級 優勝/無差別級 優勝
- 第6回全国学生女子相撲選手権大会
重量級 優勝/無差別級 優勝
- 第7回アジア女子相撲選手権大会 無差別級 3位
- 第14回世界女子相撲選手権大会 無差別級 準優勝

数々の全国大会において重量級、無差別級の二階級で成績を残し、世界の舞台では体格が大きく異なる海外選手を相手に世界2位に輝きました。

今後も目標である世界一を目指し、挑戦が続きます。



野崎 舞夏星

スポーツ健康科学部4回生 静岡県・浜松西高校

- 第6回国際女子相撲選抜塚大会 無差別級 3位
- 第6回全国学生女子相撲選手権大会 軽量級 優勝

怪めに悩み苦しんだ4年間でしたが、学生最後の年は女子キャプテンとしてチームを牽引し、悲願のインカレ優勝で日本一の座を手に入れました。



カヌー部

志田 駿太郎

スポーツ健康科学部2回生 山形県・寒河江高校

- FISU2018世界大学カヌースプリント選手権大会
カナディアンシングル200m 3位入賞

昨年同様強さを見せつけ、世界の舞台上で堂々たる入賞を果たしました。



志田 駿太郎 (写真右)



棚田 大志

スポーツ健康科学部3回生 奈良県・奈良情報商業高校

- 第54回全日本学生カヌースプリント選手権大会
カヤックシングル200m 1位/カヤックシングル1000m 1位
今年も安定した強さで輝かしい結果を残しました。今後は世界を見据えて、世界選手権での優勝とオリンピックでのメダル獲得を目標に挑み続けます。

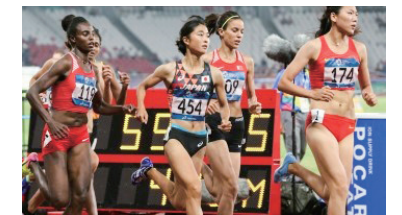
女子陸上競技部

塩見 綾乃

経済学部1回生 京都府・京都文教高校

- 第18回アジアジュニア陸上競技選手権大会
800m 2位入賞/4×400m 優勝
- 天皇賜杯第87回日本学生陸上競技対校選手権
800m 優勝

アジア大会2位入賞、リレーメンバーとして優勝に貢献。インカレでは自分の持ち味とする先攻型の走りで、1回生ながらにして学生チャンピオンに輝きました。



塩見 綾乃 (写真中央)

日本拳法部

岡崎 慧

産業社会学部4回生 大阪府・大阪商業大学堺高校

- 第34回全日本学生拳法個人選手権大会 女子の部 優勝
- 第63回全日本学生拳法選手権大会 女子の部 最優秀選手

昨年に続き今年も全日本個人優勝、4回生として、また主将としてチームをまとめ、昨年の団体準優勝の悔しさを晴らし、団体日本一に輝きました。



坂本 佳乃子 (写真左)

坂本 佳乃子

産業社会学部1回生 徳島県・小松島高校

- 2018年度日本拳法総合選手権大会 優勝

1回生ながら大将を務め、緊張感を見せない圧倒的な攻撃で、チームを勢いづけました。強さを見せつけ日本一の座を手に入れました。

ソフトテニス部

梶尾 明日香

スポーツ健康科学部3回生 大阪府・昇陽高校

- 第60回全日本学生ソフトテニスシングルス選手権大会 優勝

本学史上初、ソフトテニス部でインカレ優勝に輝きました。今後はシングルの連覇、ダブルス初優勝を目指し、更なる挑戦を続けます。



男子ソフトボール部

佐藤 夏己

産業社会学部1回生 千葉県・千葉敬愛高校

- 第12回世界男子ジュニアソフトボール選手権大会 (U19世界選手権) 銀メダル

全試合5番または6番打者として先発出場し、日本チームの銀メダル獲得に大きく貢献しました。



トライアスロン部

中山 菜々美

経営学部1回生 京都府・立乙訓高校

- ASTCトライアスロンアジア選手権 (ジュニアカテゴリー) 優勝

代表の座を射止めるため、スピードアップを図り、選考レースを勝ち抜き、本戦では持ち味である粘り強さと精神面の強さでアジアの頂点に立ちました。



中山 菜々美 (写真右)

ボート部

高野 晃帆

スポーツ健康科学部3回生 大分県・日田三隈高校

- 第18回アジア競技大会 女子舵手なしペア 4位入賞

1回生時から国内で安定の強さを見せ、今年は世界の舞台で入賞を果たしました。次に見据えるのは東京2020です。



高野 晃帆 (写真左)

ホッケー部(男子)

渡辺 晃大

経営学部4回生 福井県・丹生高校

- 第18回アジア競技大会 優勝

1回生のときにホッケー男子日本代表チームの「サムライジャパン」に初選抜され、その後、4年連続で代表に選ばれました。今年は日本代表としてアジア大会優勝に輝き、活躍をみせました。



(提供:日本ホッケー協会)

ラグビー部

藤井 健太郎

経済学部1回生 京都府・伏見工業高校

- 第3回ユースオリンピック競技大会 銅メダル

本学ラグビー部として全国大学選手権への出場に貢献、その活躍を世界の舞台でもみせ、日本代表として銅メダルを獲得しました。



硬式野球部

辰己 涼介

産業社会学部4回生 兵庫県・社高校

- 2018年第29回ハーレムベースボールウィーク 日本代表選出・優勝(侍ジャパン) ※主将、本塁王、MVP
- 第42回日米大大学野球選手権大会 日本代表選出(侍ジャパン)
- 2018年度プロ野球ドラフト1位指名

1回生時から活躍をみせ、日本代表選出、世界に輝き、目標であったプロ入りを果たしました。今後の活躍も大きく期待されます。



書道部

酒井 聖之

理工学部3回生 大阪府・追手門学院高校

内海 光輔

薬学部3回生 愛媛県・愛光学院高校

- 第23回全日本高校・大学生書道展 大賞

総数10,390点の作品の応募があった「第23回全日本高校・大学生書道展」にて、大賞を受賞。顕著な成績を収めたことで、団体の部での創部以来初の最優秀校(日本一)にも大きく貢献しました。



酒井 聖之(写真左)、内海 光輔(写真右)



応援団チアリーダー部

木村 水晶

スポーツ健康科学部4回生 大阪府・大手門学院大手前高校

雲下 乃亜

スポーツ健康科学部1回生 大阪府・大阪学院大学高校

- 第30回全日本学生チアリーディング選手権大会 ダブルス演技競技 第1位 立命館大学・A

昨年の第29回大会でのダブルス演技競技優勝に続き、息のあった演技で優勝を勝ち取り、2連覇を果たしました。



雲下 乃亜(写真上)、木村 水晶(写真下)

学術・文化・芸術 活動

で活躍する学生団体紹介

能楽部

90年の歴史があり、能楽の実演・研究・鑑賞を目的に活動しています。春の「立命薪能」と秋の「立命能」では、部員のみで能舞台を学内に製作します。全国的にみても学生の能楽部は数少なく、さらにキャンパス内で薪能を行うのは本学だけです。多くの学生・市民の方々に能の魅力を伝えています。



飛行機研究会

読売テレビ主催の「鳥人間コンテスト」での優勝を目指し、高性能な人力飛行機の製作、及びパイロットの育成を通して、人力飛行機の魅力を広く学内外に発信しています。過年度には上記コンテストでサポーター賞も受賞。飛行機に関するボランティア交流活動等も行っています。



かるた会

小倉百人一首が書かれたかるたを用いて行う「競技かるた」で、これまで全国の中でもトップクラスの成績を残し、かるた名人やクイーンとして名を知られる卒業生を輩出してきました。A級選手から初心者まで、幅広い層の選手が所属しています。



茶一くる

OIC拠点のサークルで、定期的にお稽古で茶道を学び、学園祭・Asia Week・小学生対象の「立命の家」等多くの機会に茶道の魅力を広く発信しています。最近では、英語通訳つきで留学生も多数参加したBeyond Borders Plaza企画やライブラリースタッフとの連携企画等、活動の幅を更に広げています。



モダンジャズバレエ部

モダンバレエとジャズダンスのステップを基礎に、カラフルな衣装で様々なジャンルのダンスを創作して発表しています。衣装・振り付け・選曲等は部員の手作り。各種祭典・イベントへの出演のほか、地域貢献や被災地での復興支援活動等、多方面で活躍しています。



Sustainable week 実行委員会2018

BKCを1万人の「小さな地球」と見立て、SDGsにおける17個のゴールを啓発・解決する視点から各種イベントや報告会等を実施しています。「第1回 大学 SDGs ACTION! AWARDS」では、宗教が違っても楽しめる食品を提案、見事グランプリを受賞しました。



関西Wall street

2015年に設立されたばかりの新しいOIC拠点のストリートダンスサークルです。学園祭等の各種イベントでは大勢のダンサーがステージを華やかに彩っています。初心者、経験者が入り混じり、刺激し合いつつもアットホームな雰囲気でも様々な種類のダンスをしています。



和太鼓ドン

日本各地に伝わる太鼓やお囃子、踊り等の伝統芸能を学び、舞台用にアレンジしています。演目は口唱歌として先輩から後輩に代々引き継がれ、地域のお祭りやイベント、学校や幼稚園等で披露しています。伝統芸能を通じて笑顔になってもらいたいという想いで活動しています。



Fusion of Gambit

2本の縄跳びを使って行うダブルグッチのサークルです。大学から競技を始める部員ばかりですが、9年連続全国大会に出場しており、過去には世界大会1位を獲得したこともあります。学園祭や校友大会等各種イベントで、アクロバットな技を披露して観客を魅了しています。



草津天文研究会

関西地域の優良スポットでの天体観測、天文や宇宙に関する調査研究発表、長期休暇には天体観測スポットを探して合宿を行っています。本格的なプラネタリウム等を用いて、学園祭や各種イベントにおいて、学生や市民の方々を対象にした鑑賞会等も実施しています。



地域交流・貢献活動紹介

応援団チアリーダー部

[チアリーダー部単独公演会、
ジュニアスポーツフェスティバルKUSATSU]

立命館いばらきフューチャープラザグラウンドホールにて「第1回立命館大学チアリーダー部単独公演会～舞・信じて攻める～」を開催し、立命館小学校・立命館宇治高校・立命館大学のチアリーディング部・チアリーディング部OB・OGがコラボレーション演技を披露しました。2部のパフォーマンスステージでは、チアではなくダンス披露、観客の方々のクイズ大会等、900名近い観客の前でのステージ披露となり、大盛り上がりとなりました。立命館の縦の繋がりを深く感じるイベントとなり、地域の方々にも楽しんでいただきました。



OSAKA
IBARAKI
CAMPUS

Empire Cast [茨木市との交流、小学校での演奏]

声だけでさまざまなジャンルの曲を演奏するアカペラをしているサークルです。大阪いばらきキャンパスを拠点に活動しており、楽しく温かい雰囲気のあるサークルで、4～6人のバンドを組んで日々練習に励んでいます。大阪いばらきキャンパスでの行事や茨木市のイベントに、年に複数回出演しており、小学校等でも曲を演奏することで交流の機会を広げました。



KINUGASA
CAMPUS



BIWAKO-
KUSATSU
CAMPUS



邦楽部 [能舞台フェスタ、定期演奏会]

箏、三味線、尺八の三つの和楽器を中心とした演奏活動を行っている団体です。日本の伝統文化である邦楽文化の継承・普及・発展を目指し地域に根差した活動を展開しています。年に一度行う定期演奏会を目標とし、日々練習に励んでいます。外部からの依頼を年に多数受けており、デイサービスや地域のイベント等で演奏したり、和楽器体験を行ったりしています。たくさんの方に邦楽を楽しんでもらいたいという思いを胸に、古典曲や現代邦楽はもちろんのこと、ポップスやアニメソング等も演奏しています。



サッカー部

[サッカースクール活動・原谷カップ]

月に2回地域の小学校に出向き、サッカーを通じて子供たちとの交流、地域活性化を目的とし取り組んでいます。原谷グラウンドで開催される「原谷カップ」では、子供たちの練習や試合を応援・サポートしています。チームの競技力向上だけでなく、サッカー部の幅広い活動、子供達の純粋にサッカーを楽しむ姿から、サッカー部の理念である「愛し愛されるクラブ」のスローガンの元、活動に取り組んでいます。

アメリカンフットボール部・男子バスケットボール部

[南笠東小学校スクールガード活動]

BKC近隣地域の南笠東小学校付近で、昨年に引き続き体育会の学生が児童の登校見守り活動を行いました。昨年度アメフト部が初めて参加し、今年度は男子バスケットボール部にも活動の輪が広がりました。このような活動を通じて地域から愛されるチームになり、その様子を見て育った子どもたちが立命館大学に親しみを感じてもらえるよう、今後も様々な地域貢献活動への参加を進めていきます。

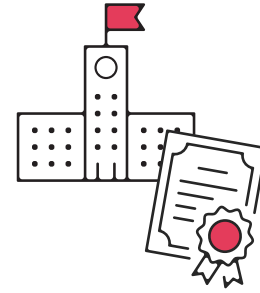


R.D.C(立命館ダンスサークル)

[草津市との地域交流]

立命館大学BKCを中心に活動しているダンスサークルです。日々練習に励み、様々なイベントやコンテストに出場しています。また、イベントに参加するだけでなく、自分たちでイベントを運営することもあります。部員数は約200人と大規模なサークルとなっています。大学内では、学祭やその他のイベントに向けて取り組んでいます。草津市を中心に小学校や地域イベントからの依頼を受け、月に1回ほどの頻度で地域交流を行っています。私たちは、地域の方への日頃の感謝を込めて、この活動に取り組んでいます。内容としては、ショーとワークショップが主になります。イベントに出場しダンスを披露したり、地域の子供たちと一緒に踊ったりします。ワークショップでは子供たちが簡単でも楽しく踊れるようなダンスを考えて行っています。

成長支援型奨学金・助成金を活用して輝く学生個人・団体紹介



+R校友会未来人材育成奨学金(成長支援)

第70回日米学生会議への参加

●佐藤 美緑 経営学部4回生 熊本県・熊本高校

1934年に発足した日米学生会議(Japan-America Student Conference -JASC)は、2018年度に第70回を迎え、2018年8月にアメリカで本会議が開催されました。本会議では、ワシントンDC等の4都市で約3週間の本会議への出席、日米の学生間のディスカッションや平和に関するイベント等、さまざまな活動に参加しました。

学生生活最後の1年、そして最後の夏を何か学生しかできないことをして過ごしたい、様々なフィールドで学ぶ学生と出会いたい、と思い、日米学生会議に応募しました。書類審査と面接を経て、日米学生会議に参加することが2018年4月に決定しました。8月の3週間を過ごす本会議や、4月から7月にかけての事前活動への参加費・交通費等に、校友会からの奨学金を利用させていただきました。

春合宿、佐渡での研修、直前合宿、本会議と続き、12月の報告会で2018年度の活動は終わりました。活動を通して、約70人の日・米の学生との共同生活や、様々な場所を訪れ、幅広い分野の専門家の方々、過去の参加者の方々のお話を聞き、ディスカッションをする機会等で、多くの出会いに恵まれました。この経験と新しい出会いは自身の視野を広げ、これからも自分から積極的に色々なコミュニティに参加していきたいと考える一つのきっかけとなりました。



学びのコミュニティ集団形成助成金



立命館大学にてTED開催

●TEDxRitsumeikanU

TEDxRitsumeikanUはアメリカ発祥の世界的イベントTEDの「Idea Worth Sharing (価値のあるアイデアを世界に広める)」という理念を引き継ぎ、立命館大学特有の魅力、そして国際学生都市としての京都の魅力をアピールすることを目的として活動している団体です。

チームは2018年に設立され、TEDを初めて本学で開催することになりました。今回のTEDxRitsumeikanUは「Exploration (探求)」をテーマに、京都のゲストスピーカーの方々からの様々なアイデアが学生たちにインスピレーションを与えるような設計を心がけました。企画は2018年10月14日に開催し、本学教授から起業家まで、魅力ある5人のゲストスピーカーから言語、メンタルヘルス、夢の構築法等についてのアイデアを学生に向けて語られました。

学びのコミュニティ集団形成助成金によって私たちTEDxRitsumeikanUは立命館大学で初めてのTEDイベントの実現に向けた広報活動準備を進め多数のゲストスピーカーにご講演いただくことができました。

今後もTEDの理念を受け継いで学生たちが自分の殻を抜け出すきっかけになるよう、本学で毎年の開催を目指します。

アスリート・クリエイター育成奨学金

苦労の連続—4年間の取り組みを通じて得たもの—

●清水 里佳子 重量挙げ 産業社会学部4回生 富山県・滑川高校

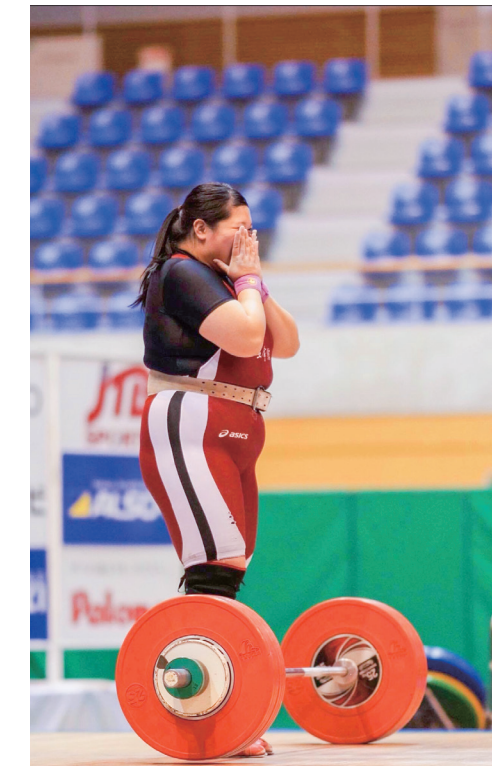
私は大学生生活の4年間を通して、学業と課外自主活動を両立し、目標を達成するために全力で活動に取り組んできました。

特に課外自主活動においては、体育会重量挙げ部に所属し国際大会出場に向け取り組んできました。特に印象に残ったのは、3回生の時に全日本選手権で優勝できたことです。初めて社会人も出場する大会で優勝し国際大会に出場できた時は、本当に嬉しく今まで頑張ってきた本当に良かったと思いました。しかし、4年間良いこともありました、苦労したことの方が多くありました。記録が伸びず悩んだ時やライバルに負け続ける時期、自信を失くす日々が続きました。そんな時に、周りで支えてくれた家族や仲間、友達には感謝の気持ちでいっぱいです。そして、アスリート・クリエイター育成奨学金に3年間採用していただいたことで、



挫けそうな時も他大学に個人合宿に行き他選手から刺激を貰うことや、多くの試合に参加することで目標を成し遂げる事ができました。

今後も、今までの恩返しができるように課外自主活動以外の場面でも頑張っていきたいと思います。



関西で数多くの地域交流イベントに参加

●JAZZCLUB

立命館大学JAZZCLUBに所属するΣ Spirits Jazz Society 2018というメンバー18人によるビッグバンドとして、「地域密着型エンターテインメント集団」をモットーに、一年間様々な地域イベントで演奏させていただきました。「草津宿場まつり」「みなくさまつり」「大津矯正展」のようなお祭り会場のステージや、「大津ジャズフェスティバル」「Osaka Big Band Friends」「Swing Jazz Cruise」等の地域音楽フェス等、様々なステージに出演し、地域イベントを盛り上げてきました。これまでは草津市から助成金をいただき、草津市を中心に活動していましたが、今年はプロジェクト助成を利用することで、草津だけでなく京都や大阪まで活動範囲を広げ、関西のより多くの地域イベントに出演することができました。



4年間掲げ続けた目標に向かって

●男子陸上競技部(駅伝パート)

男子陸上競技部駅伝パートでは、重点強化助成を活用して、夏季休暇中に3度の強化合宿を行いました。京都府・新潟県・岐阜県の3か所を合宿地とし、走り込みや高地トレーニング等駅伝に向けての練習を積み、個人はもちろんチームとしてのレベルアップを図りました。その成果もあり、昨年10月の出雲駅伝では7位入賞、立命館大学として9年ぶりの入賞を果たすことができました。「出雲駅伝入賞」という目標は現4回生が1回生の時に掲げた目標で、4年間を通じてこの目標にむかって部員一丸となって取り組んできました。そのため、入賞を果たした瞬間には、自分達で掲げた目標を信じて取り組んできてよかった、と心から思うことができました。また、強化合宿で付けた力は駅伝だけでなく、秋シーズンのトラックレースでも発揮することができ、関東の強豪校にも引けを取らない記録を残すことができ、来年度に繋がる取り組みとなりました。今後も、重点強化助成による支援を還元できるよう部員全員で活動に取り組んでいきたいと思ひます。



学園祭

年に1度開催される学園祭は、学生のエネルギーを凝縮した学生文化発信の象徴的な行事です。

2018年度のテーマは「Be hungry」でした。

「学園祭を運営する人、パフォーマンスをする人が、貪欲に活動に取り組んでほしい。そして、学園祭に参加する人に全力で楽しんでほしい」という企画した学生の想いを込めたものです。

こうした想いを踏まえて企画・運営を行った結果、

近年では最多の来場者数を迎え入れた学園祭の開催となりました。

この学園祭は、学友会が主催しており、企画の立案から実施まで学生が主役となって活動しています。



学友会とは

大学での講義や研究等といった学びや、文化・芸術系スポーツ・ボランティア等の多様な課外自主活動の発展・向上を目指し、立命館大学に在籍する学生全員で構成されている学生の自治組織です。具体的な活動は新入生歓迎・学園祭等大きな企画の立案・実行を学生自身の手で行う、課外活動を行っている諸団体の管理・運営や様々な活動を行う学生を応援する機会の創出をする、学生の大学での学習・生活環境の向上のために、学生の意見を集約し実現させるために大学と協議を行う、といった活動を行っている組織です。2018年度は大学と学生が協議する機会である全学協議会が開催され、学友会も学生代表の1パートとして参加したり、立命館の総長を決める選挙にも学友会が参画しました。学友会についてもっと知りたい方は学友会HPをご覧ください。



2018年度の主な活動実績

体育会

クラブ名	大会名	大会区分	団体・個人	結果・順位
アーチェリー部(女子)	関西学生リーグ戦	関西	団体	6位
アーチェリー部(男子)	関西学生リーグ戦	関西	団体	4位
アイスホッケー部	第10回関西カップ	関西	団体	3位
アイスホッケー部	第67回関西学生アイスホッケー選手権大会	関西	団体	3位
	第65回関西学生アイスホッケーリーグ戦	関西	団体	3位
	第91回日本学生氷上競技選手権大会	全国(学生)	団体	ベスト16
アメリカンフットボール部	関西学生リーグDiv.1	関西	団体	準優勝
カヌー部	2018カヌースプリントジュニア海外派遣選手最終選考記録会	全国	個人	1位
	全日本学生カヌースプリント選手権大会	全国	個人	1位
	全日本学生カヌースプリント選手権大会	全国	団体	総合優勝
サッカー部(男子)	関西学生選手権大会	関西	団体	4回戦敗退
	関西学生リーグ(前期)	関西	団体	9位
	関西学生リーグ(後期)	関西	団体	6位
バドミントン部(女子)	関西学生春季リーグ戦	関西	団体	3位
	第68回関西学生バドミントン選手権大会	関西	個人	ベスト16
	第58回西日本学生バドミントン選手権大会	西日本	団体	ベスト4
バドミントン部(男子)	関西学生秋季リーグ戦	関西	団体	4位
	関西学生春季リーグ戦	関西	団体	2位
	第68回関西学生バドミントン選手権大会	関西	個人	ベスト8
	第58回西日本学生バドミントン選手権大会	西日本	個人	ベスト4
	関西学生秋季リーグ戦	関西	団体	4位
バレーボール部	関西学生春季リーグ戦	関西	団体	3位
ハンドボール部(女子)	関西学生秋季リーグ戦	関西	団体	7位
	関西学生春季リーグ戦	関西	団体	6位
ハンドボール部(男子)	関西学生春季リーグ戦	関西	団体	9位
フェンシング部(男子)	関西学生秋季リーグ戦	関西	団体	1位(2部リーグ内)
フェンシング部	第68回関西学生フェンシング選手権大会	全国	個人	2部総合優勝
ボート部	第68回関西学生フェンシングリーグ	関西	団体	4位
	第63回中日レガッタ	西日本	個人	1位
	第71回記念大会 朝日レガッタ	全国	個人	優勝
	全日本学生選手権	全国	団体	優勝
ホッケー部(女子)	第96回全日本選手権大会	全国	個人	優勝
	関西学生春季リーグ	関西	団体	準優勝
	第37回全日本大学ホッケー王座決定戦	全国(学生)	団体	3位
	高円宮杯2018ホッケー日本リーグ順位決定戦	全国	団体	8位
	関西学生秋季リーグ	関西	団体	準優勝
ホッケー部(男子)	第40回全日本学生ホッケー選手権大会	全国(学生)	団体	4位
	関西学生春季リーグ	関西	団体	優勝
	第37回全日本大学ホッケー王座決定戦	全国(学生)	団体	優勝
	高円宮杯2018ホッケー日本リーグ順位決定戦	全国	団体	2位
ラグビー部	関西学生秋季リーグ	関西	団体	優勝
	関西大学Aリーグ	関西	団体	2位 全国大学選手権大会出場(3回戦敗退)
ラクロス部(女子)	関西学生リーグ戦	関西	団体	5位
ラクロス部(男子)	関西学生リーグ戦	関西	団体	2位
レスリング部	西日本学生春季リーグ戦	西日本	団体	6位
	西日本学生秋季リーグ戦	西日本	団体	7位
	平成30年度 第44回内閣総理大臣杯全日本大学レスリング選手権大会	全国(学生)	個人	3位
弓道部(女子)	第30回全国大学弓道選抜大会	全国(学生)	団体	優勝
弓道部(男子)	第66回全日本学生弓道選手権大会	全国(学生)	団体	優勝
	第66回全日本学生弓道王座決定戦	全国(学生)	団体	ベスト8
空手道部(新生)	第61回全関西大学空手道選手権大会	関西	団体	準優勝(男子2部)

クラブ名	大会名	大会区分	団体・個人	結果・順位
剣道部(女子)	第42回関西女子学生剣道優勝大会	関西	団体	1位
	第33回西日本女子学生剣道大会	西日本	団体	準優勝(全100校)
剣道部(男子)	第31回関西学生剣道新人大会	関西	団体	ベスト8
硬式庭球部(女子)	平成30年度関西学生テニス選手権大会	関西	個人	ベスト32
	平成30年度関西学生地域テニストーナメント	関西	個人	ベスト4
硬式庭球部(男子)	平成30年度関西学生地域テニストーナメント	関西	個人	2位
	平成30年度関西学生地域テニストーナメント	関西	個人	準優勝
硬式野球	関西学生春季リーグ戦	関西	団体	優勝
	関西学生秋季リーグ戦	関西	団体	準優勝
自転車競技部	2018年度全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ第3戦 白馬ラウンド	全国	個人	1位
	2018年度全日本学生ロードレースシリーズ 第4戦 山形村ヒルクライムラウンド	全国	個人	1位
自動車部	平成30年度全日本学生運転競技選手権大会	全国	個人	4位
射撃部	第29回西日本学生スポーツ射撃選手権大会	西日本	個人	優勝
	第26回 西日本女子学生スポーツ射撃選手権大会			
	第65回 秋季関西学生ライフル射撃選手権大会	関西	団体	1位
	第24回 秋季全関西女子学生ライフル射撃選手権大会			
	第15回 秋季全関西学生ピストル射撃競技大会			
柔道部(女子)	第65回全日本学生ライフル射撃選手権大会兼 第31回全日本女子学生ライフル射撃選手権大会	全国	団体	5位
	平成30年度 第25回 関西学生女子柔道優勝大会(女子)	関西	団体	5位
	第30回関西学生女子柔道体重別選手権大会	関西	個人	2位
重量挙げ	第30回全日本女子学生ウエイトリフティング選手権大会	全国(学生)	個人	2位
	第17回西日本学生ウエイトリフティング選手権大会	西日本	個人	2位
	第66回関西学生ウエイトリフティング選手権大会	関西	個人	4位
	第32回 全日本女子ウエイトリフティング選手権大会	全国	個人	2位
	平成30年度秋季リーグ戦	関西	団体	優勝
準硬式野球部	第36回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会	全国	団体	優勝
	平成30年度秋季関西地区大学準硬式野球大会	関西	団体	優勝
女子ソフトボール部	関西学生春季リーグリーグ戦	関西	団体	4位
	関西学生秋季リーグリーグ戦	関西	団体	5位
女子バスケットボール	第67回 西日本学生バスケットボール選手権大会	西日本	団体	ベスト8
	平成30年度関西女子学生バスケットボール リーグ戦	関西	団体	5位
女子陸上競技部	第95回関西学生陸上競技対校選手権大会(トラック&フィールドの部)	関西	個人	優勝
	第71回西日本学生陸上競技対校選手権大会	西日本	個人	優勝
少林寺拳法部	第87回日本学生陸上競技対校選手権大会	全国(学生)	個人	優勝
	第56回関西学生大会	関西	個人	2位
水泳部(競泳)	第53回 関西女子学生選手権水泳競技大会	関西	団体	2位
水泳部(水球)	関西学生リーグ	関西	団体	2位
水泳部(飛込)	2018年度日本室内選手権飛込競技大会 兼 国際大会派遣代表選手選考会(翼ジャパンダイビングカップ)東京辰巳国際水泳場	全国	個人	13位
	第6回国際女子相撲選抜大会	国際	個人	優勝
	第19回全国選抜女子相撲大会	全国	個人	優勝
	第4回全国女子相撲選抜ひめじ大会	全国	個人	優勝
	第9回全日本女子相撲郡上大会	全国	個人	準優勝
相撲部	第9回全日本女子相撲郡上大会	全国	団体	2位
	第23回全日本女子相撲選手権大会	全国	個人	2位
	関西学生春季リーグ戦	関西	団体	6位
卓球部(女子)	第88回全日本大学総合選手権(団体の部)予選リーグ	全国	団体	ベスト32
	関西学生秋季リーグ戦	関西	団体	4位

